

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティブキッズ2(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士や言語聴覚士等の専門の職員が、利用児ごとに個別対応にて、フォーマル、インフォーマルなアセスメントを行い、利用児の発達の状況や困り感に応じたオーダーメイドの対応や助言を行っている。	対応している職員だけの意見とならないように、職員間での情報共有を図り、利用児への対応や、保護者への説明を行うようにしている。	可能な時は、一人の利用児に対して複数職員で対応し、見方が一方向とならないようにする。また、保護者と話す機会をこまめに持ち、保護者の意向と食い違いが生じないように対応する。
2	発達に応じた、学習のステップや定着を確認し、助言ができる。	保護者を通して、学校へ発達の状態を伝えている。	利用児に関しては、令和8年3月で終了になるため、適宜、保護者を通して、医療機関・園・教育委員会(学校)へ情報提供している。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	福祉施設なので、アセスメントはできても、医師の診断はできず、症状対応となってしまふ。	特になし	発達を専門に見ている医療機関と連携を図りながら、保護者へ説明、対応をする。
2	事故が起きた際の対応は、対処法であり、重篤な場合は対応できかね、受診が必要となる。	特になし	日ごろから、ヒヤリハットを記録、検討し、事故発生リスクを避けられるように対処する。また、事故発生時は迅速な対応ができるように、日ごろからマニュアルを確認し、訓練を行い、職員に周知する。
3	8年度より放課後等デイサービスの事業を廃止した為、就学後の継続したフォローが困難となった。	夕方の時間に予約が集中し、定員内の対応や利用者の定員の調整に苦慮した。 施設の設備上、就学児と未就学児が同一の活動場所になり、活動場所・内容は配慮したが、それぞれの活動の妨げとなってしまうこともあった。	利用児に関しては、令和8年3月で終了になるため、適宜、保護者を通して、医療機関・園・教育委員会(学校)へ情報提供している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アクティブキッズ2(放課後等デイサービス)

公表日 2026年 3月 16日

利用児童数 12

回収数 8

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2			・活動内容に応じて個室や広いスペースなど自由に利用することができます。	ありがとうございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8				・マンツーマンで対応していてすごいなと思います。	ありがとうございます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				・階段にも手すりが設置されており、より安全に過ごせるようになりました。死角となる所も少なく安心して過ごせます。	ありがとうございます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				・とてもきれいにされていると思います。様々な活動ができる空間になっています。	ありがとうございます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				・STさんによる支援が受けられて、本当に助かっています。	ありがとうございます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8				・合っていると思います。	ありがとうございます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				・保護者への聞き取りも丁寧にして下さり、毎回の個別支援計画も具体的でわかりやすいです。	ありがとうございます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8				・全ての項目で適切に、また、具体的な支援がうけられています。	ありがとうございます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8				・とてもそう思います。	ありがとうございます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8				・子どもが楽しく活動できるよう、毎回工夫されています。	ありがとうございます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	3	4	・必要ないと思います。 ・今までないのでわからない。	ありがとうございます。必要に応じて検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8				・しっかり丁寧な説明がありました。	ありがとうございます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				・計画書を見ながら、支援内容をきちんと確認することができました。	ありがとうございます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		1	2	・チラシなどもよく見かけるので勉強になります。	ありがとうございます。引き続き、掲示板などでお知らせ、周知を図っていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8				・毎回、しっかり話を聞いてくれるので心強いです。	ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8				・必要な時にきちんと時間を取って下さり対応してくれます。ありがたいです。	ありがとうございます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				・いつも寄り添った支援を受けることができます。	ありがとうございます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	3	4	・特に必要ないかと思います。 ・今までないのでわからない。	ありがとうございます。必要に応じて検討していきたいです。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				・必要な時は、面談の提案などでもしてもらって助かります。いつも心強いです。	ありがとうございます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				・面談の時は、個室を用意してくださるので安心です。	ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1	・きちんと発信されています。	ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				・問題ないです。	ありがとうございます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2		1	・掲示板にもはってあり、説明も受けました。	ありがとうございます。 引き続き、掲示板などでお知らせ、周知を図っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3		1	4		ありがとうございます。 引き続き、掲示板などでお知らせ、周知を図っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				・毎回、とても楽しみにしている様子が伝わってきます。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				・アクティブキッズの日は、朝から機嫌が良く、学校も頑張れるようです。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				・入院した際にも、ケース会議にも来てくださり、本当に感謝しています。 ・今年度で終わることが残念です。 ・家ではじっくり取り組むことができないことを取り入れて考えてもらい助かっています。	ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 アクティブキッズ2(放課後等デイサービス)

公表日 2026年 3月 16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		・意識してできていない時がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		・必要な場合のみ、行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・該当する利用者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		・事業所内での周知にとどまっている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			・食事提供はないが、把握はされている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				